



芸術の秋 in 保田



11月20日(金)。私はこの日が来るのを大変楽しみにしていました。

『芸術の秋 in 保田』の日です。当日の様子は学校通信やブログ等でお伝えしている
ので、ここでは作品展示を含め、開催までの過程や思いも合わせて書きたいと思います。

何度もお伝えしているように、今年はなかなか例年通りの行事を行うことができません。けれど、コロナウィルス感染症と向き合い、「すべて無理」ではなく「だったらこうしたら」を考え続ける日々です。保田祭の代替行事についても、何を目的にどのようなことをしたいか、そのためにはどうしたら良いかを随分と考えてきました。

目的は大きく二つ、「みんなで作り上げる」「文化に触れる」ことです。そして、先輩達の姿や作品を見て、来年はこんなふうに歌いたい、こんな作品を作ってみたいという思いをもつことです。

作品展示は美術部の作品、授業での成果物の展示でした。どの作品からも普段の頑張りが伝わってきました。授業参観と合わせて開催したので、唯一保護者の皆様にもご覧いただけました。

舞台発表について、まず、提案があったのは「各学年で学年合唱をしたい。」ということでした。本校の体育館は狭いので学年ごとに歌うという案でしたが、「他学年の歌も互いに聞き合えるといいね。」ということで、小学校の体育館をお借りすることにしました。小学校の舞台の広さをメジャーで測り文科省や合唱連盟の指針に沿って間隔をとりました。いつもより隣の人と離れていて歌いにくかったと思いますが、心を合わせ、歌声を合わせ、頑張りました。

続いて、小学校の体育館で全校生徒が入れるなら、以前予定していた落語家さんをお呼びしよう、3年生が総合で取り組んだビブリオバトルを披露しよう、生徒会役員を中心に全クラスのショートムービーを流そう、6年生にも聞いてもらおうと、どんどんできることが膨らんできました。どれもこれも感染症対策を十分に考えながら、今できる自分たちの精一杯を見せてくれました。

ビブリオバトルは、林心晴さんと豆塚星斗くんの2名が素晴らしい発表をしてくれました。

圧巻だったのは、3年生の学年合唱でした。全員の思いが一つになった素晴らしい歌声をでした。体育館にいる全員が食い入るように聞き入っていました。後ろで6年生の男児が「アンコール！」とつぶやいていました。

そして、尾藤先生へのサプライズです。大変感動しました。この様子は、是非、お子さんから聞いてください。

午後からの短い時間でしたが、心温まるとても楽しい時間を過ごさせてもらいました。

最後に一言。保中の一員で本当に良かった。